

おもな内容

1. 浄水場を共同設置 (1P)
2. 夏の交通安全をなくそう (2P)
3. 所得税の予定納税は (2P)
4. 明るく正しい選挙の十箇条 (2P)
5. 籠球、男女とも優勝 (3P)
6. プール一般開放は決る (3P)
7. 村の文化財2件指定 (4P)
8. 県民スポーツ横越大会 (4P)
9. 文化団体紹介 (4P)



(二本木 原 猛氏庭園)

新潟市と協定を締結 浄水場を共同設置

水の供給不安を解消

横越村水道事業の現状及び将来の観点から、さる昭和四十七年に新潟市が本村地域内に浄水場建設を始めたのを機会に、企業合同等について新潟市に陳情をいたし、これが好意ある採択とあいまって、今日まで新潟市当局と交渉、協議を重ねた結果、この度漸く「阿賀野川浄水場の共同設置」という形で協定が成立いたしました。従って本村の水道事業は従来とおり継続されることとなり、最大の懸念であった水の供給については、これによって長期安定化が図られました。

浄水場共同設置の主たる協定内容としては、施設の基本計画と工事内容、工事費の分担割合、施設の持分及び管理等々が規定されており、概略項目別には次のようになっています。

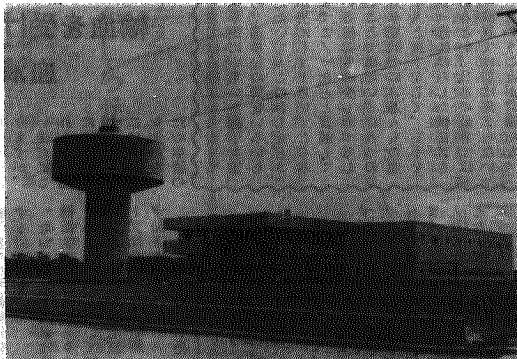
一、基本計画
大江山区簡水
七月から切り替
今まで横越村の簡易水道から給水を受けていた大江山区は、新潟市側の切替工事が進められ、七月一日から新潟市の上水道に切り替されました。

二、共同工事費分担割合及び施設の持分
新潟市 九三・九六割
横越村 六・〇四割
一日最大給水量の比率按分

三、共同工事費総額
新潟市 一、一七、〇〇〇人
横越村 一〇、〇〇〇人
一日最大給水量
新潟市七〇、〇〇〇立方尺
横越村 四、五〇〇立方尺

四、共同工事完成期限
施設完成 昭和52年度末
(横越村への給水昭和53年4月目途)

五、共同施設の管理
横越村 託管理



共同施設になった阿賀野川浄水場

あなたも総合検診へ わたしも総合検診へ

中年からでは遅すぎる

村では今年も七月二、十八日から八月九日まで、総合検診(給血、血圧、胃腸、糖尿病)を実施します。

成人病とは、老化に伴なって起る病気で、その中には脳卒中、がん、心臓病、肝臓病等々さまざまものがあ

り、そして全死に者の六十割までが成人病で亡くなっています。

脳卒中、がん、心臓病等は恐い病気だと知っていても「まだ若い」「このとおり文夫だ」と忙しきも手早い検診をうけない方がなくありません。

成人病の原因が明確でないものが多く、予防に心がければ、かからないともいえます。かかると、かかるとも早見ると正しい治療で、快適な生活ができると思います。ぜひこの機会を逃さず自分の健康を確認しましょう。

(地区別日程はチラシにご覧下さい)

横越村

横越村ではグラウンドが新設されたり、改修されたりして、整備されてきました。二本木のグラウンドがこの度改修され、野球のバックネットもでき、六月六日竣工記念体育大会が開かれました。小形でも県外地に野球場が新しく作られ六月五日開幕の野球大会が開催されました。すでに、沢渡では地域の方々のご努力で沢渡グラウンド竣工して活用されています。これでは数年間の青年団の手で野球場が完成しています。各グラウンドともに地域や関係団体の熱意と活動によって完成したものです。これで学校のグラウンド以外に旧小学校毎にグラウンドができた。この規模のグラウンドを持てるところは珍らしいと思えます。それだけ村民の方々のスポーツに関する意欲が高まってきたのでしよう。

村早稲野球大会には、昨年の18チームが24チームに増加しました。四、五年前までは村民野球大会の出場選手の中には半袖シャツにステッチがはられていた人達も見受けられたのですが、今では各チームともに、揃いのユニホームでプロ野球を思わせるような風景も見受けられるようになりました。これだけスポーツが一般化し、スポーツ人口が増加したのと思えます。恐らく夏の村野野球大会には30チームを越すのではないかと、部内で推して見ます。特定の人数のスポーツが前年の向上も大切なことです。できるだけ大勢の村民がスポーツに親しむことがより重要な点でしょう。

スポーツは村民体育の向上だけでなく、明眼運動を兼ね、仲間意識の醸成に役立つことと見えます。村民の努力によってできたこれらのグラウンドが今後益々活用されることを祈ってやみません。